五ケ丘まちづくりニュースレター



第15号



令和８年度 第５回五ケ丘活性化プロジェクト全体会を開催しました！

９月２６日（土）、益富交流館で第５回五ケ丘活性化プロジェクト全体会を開催し、２８名にご参加いただきました。今回は、３つのグループから取組状況と今後の活動の方向性について報告し、全体で意見交換をしました。また、公共施設跡地活用に関する今後の具体的な取組について検討を進めるため、豊田市と意見交換を行いました。





寺﨑会長

①あいさつ

五ケ丘活性化プロジェクト　寺﨑会長

今、日本では少子高齢化が進み寿命も延びています。しかし、大切なのは元気で暮らせる「健康寿命」を延ばすことです。そのためには、地域の行事に参加するなど、人とのつながりがとても大切です。
五ケ丘を活性化するためには、私たち一人ひとりが自分事として考えることが必要です。ぜひ、「自分にも何かできることはないかな」という気持ちで、まちづくりに関わっていただければうれしく思います。

第5回五ケ丘活性化プロジェクト全体会の様子が、10月10日（土）～16日（金）の間、ひまわりネットワーク「ひまわりニュース&トピックス」で紹介されました。

②まちづくりの取組について（各グループの取組報告）

３つのグループ（つながり・にぎわい創出、まちづくりの場（施設）創出、仕組みづくり）から各グループで取り組んできたことについて報告しました。

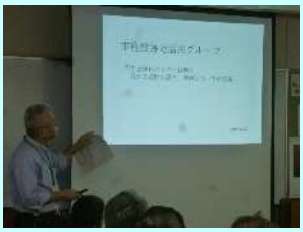
●報告内容

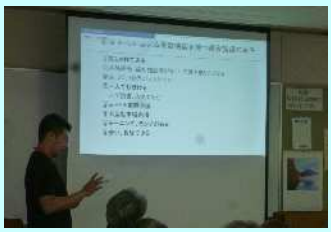
【つながり・にぎわい創出グループ】



ラジオ体操（7･8月）、健康麻雀（9月）を実施しました。
また、健康ウォーク（10月）後のイベントや将棋イベント（11月）を予定しています。11月以降も、実施できるイベントを順次取り組んでいきます。







【まちづくりの場（施設）創出グループ】

①若者世代の意識調査チーム

子どもから高齢者までが集い、世代を超えた交流が生まれる複合施設のあり方を検討しています。先進事例の調査報告も行いました。

（参考事例として「おひさまテラス」（千葉県旭市）、「ヒトトキミキ」（兵庫県三木市）を紹介）

②市施設跡地活用チーム

五ケ丘浄化センター管理棟や五ケ丘運動広場の活用方法について検討しています。交流スペースの整備や地域施設としての活用案を報告しました。（例：マレットゴルフコースの拡充、宅地造成など）

③アンケートチーム（五ケ丘の声を聴き隊）

ハウスメーカーから、五ケ丘は住宅地として高いポテンシャルを既に備えている。そこに「＋α」を付加し、ブランド化することで活性化につながるのではないかとのアドバイスを受けました。
また、某企業の従業員を対象に実施したアンケートの結果、若い世代は「新興住宅地」を求めていることが分かりました。今後、実際に跡地を活用している地域を訪問し、ヒアリングする予定です。

【仕組みづくりグループ】





①「みんなの学校」を目指してチーム

地域学校共働本部の取組を参考にしながら、
地域と学校が協力して支え合う仕組みづくりを検討しています。

② 子育て支援チーム

未就園児の保護者への聞き取りを行いました。
今後は子育て情報の発信強化や関係団体との連携を検討します。

③ 学習室チーム

集会所で学習室を試行的に開放し、延べ12名の中高生が利用しました。今後も継続実施に向けた検討を進めます。

③豊田市資産経営課からの報告

公共施設跡地の利活用に関する方向性案について説明しました。







④グループワーク（次回までの取組について）

各グループで次回までの取組について協議しました。

【次回報告すること】

・つながり・にぎわい創出グループ
　→先進地視察バスツアー、マルシェ等の具体案
・まちづくりの場（施設）創出グループ
　→グルッポふじとう（春日井市）の視察結果、
　　学校跡地に人が集まるためのアプローチ
・仕組みづくりグループ
　→地域学校共働本部へのヒアリング結果

第６回全体会は**１０月２４日（土）14時から**益富交流館１階大会議室で開催します。
五ケ丘活性化🎀プロジェクトにご興味のある方又は一緒に活動していただける方は下記連絡先へご連絡ください。　※これまでの取組については市ＨＰでご覧いただけます。👉

【発　行】五ケ丘自治区連合会、五ケ丘活性化🎀プロジェクト、豊田市（高橋支所 地域振興担当）　令和８年１０月
【連絡先】電話：８０－００７７、メールアドレス：takahashi-shisho@city.toyota.aichi.jp